

## ソフトテニスラケットにおける公認マーク貼付の廃止に伴う対処について

2026/4/1以降

2026年4月から販売されるラケットには、日本ソフトテニス連盟の公認マークが貼付されなくなるため、トスを行う際に「ソフトテニスルールブック 審判規則 第23条(5)(国内大会)」に記述されている内容では補えないことから、現行のルールに下記を追加して対処することとします。

◇ラケットのグリップエンドにあるメーカーマークの上を表とする

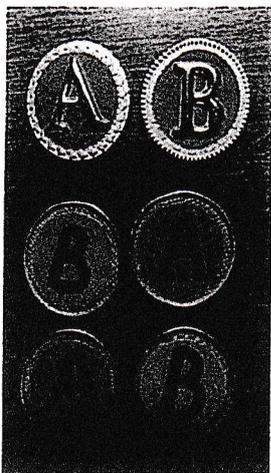
◇コイントス

なお、コイントスを行う場合は「ソフトテニスルールブック 審判規則 第23条(5)」に記載されている(国際大会)に準じて行う。

公認マークの有無ラケットが暫くは混在することが考えられるため、上記の3種類のトスで対処することとします。

各大会においては、トスを行う方法を競技上の注意に記述するか開会式で必ず伝達するようお願いします。(コイントスを採用する場合は、全対戦統一してコイントスとしてください)

★2026年度の(公財)日本ソフトテニス連盟主催大会全てにおいて、ローカルルールとしてコイントスを採用することとします。



第33回 全日本シングルスソフトテニス  
選手権大会要項より  
ソフトテニスルールブック(2026.4.1 発行版)  
による(7ゲーム)※マッチ開始前の挨拶が  
終わった後のサービス、レシーブ又はサイド  
の選択は、副審がコインのA面とB面を双方  
のプレーヤーにそれぞれ示し、コインを投げる。  
A面が上になった場合は正審の右側が、B面が  
上になった場合は正審の左側がそれぞれ先取権  
を得る。なお、トスは進行の都合により、  
事前に行っておくことができる。